

YOKOSHIN NEWS

平成25年12月26日
横浜信用金庫

《よこしん》景気動向調査結果について

－平成25年10～12月期実績、平成26年1～3月期予想－

横浜信用金庫(横浜市中区尾上町2-16-1 理事長 斎藤 寿臣)では、定例(四半期)の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】

業況は回復傾向が続く

来期もプラスを維持する見込み

- 今期(平成25年10～12月期)の業況判断DIは前期比3.7ポイント上昇の4.2と回復した。来期は5.6と、今期より1.4ポイント上昇を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断DIは前期比7.6ポイント上昇の6.8となった。特に金属プレス・メッキと電気機械器具が大きく上昇した。製造業の来期業況判断DIは6.4と、今期より0.4ポイント低下する見込みである。
- 非製造業の今期業況判断DIは前期比1.8ポイント上昇の3.0となった。特に卸売業が大きく回復した。非製造業の来期業況判断DIは5.2と、今期より2.2ポイント上昇する見込みである。

【特別調査】 平成26年の経営見通し

- 日本の景気見通しは「普通」「やや良い」が大方の見方
- 平成26年の自社の業況は「普通」が過半数
- 平成26年の売上額伸び率は「変わらない」が大方の見方
- 業況が上向き転換点となる時期については「改善の見通しは立たない」が最多回答
- オリンピックの影響は「どちらともいえない」「今後の間接的影響に期待」が大方の見方

<調査概要>

調査対象:当金庫取引先(法人・個人事業者)774先 有効回答数:753先

調査方法:各営業店職員による聞き取り調査 調査時期:平成25年12月上旬



横浜信用金庫